防ごう非行・助けよう立ち直り

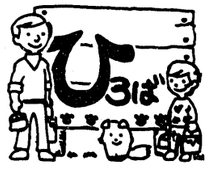
社明運動の公開ケース研究会

「墓走族と呼ばれた少年」を事例とした、公開ケース研究会が、七月二十五日、中央公民館で開かれました。

この研究会は、第三十回社会を明るくする運動の一環として行われたものです。非行に陥った少年のケースをとりあげ、地域の人たちと一緒にその少年の生い立ちや非行の原因などを話し合い、地域社会の浄化を目的としています。

会場には、保護司、民生委員、BBS、自治会長、学校など各種団体の代表約百人が出席、六分科会で討議しました。締めくくりとして、講師である新潟保護観察所長の所感があり、「防ごう非行、助けよう立ち直り」の意識を深め、閉会しました。

▶六班に分かれ、熱心に意見交換



「校章めぐり」にかわって今月号から、新しく、市内の子供会を紹介します。

このページは、各子供会から、活動内容などを自主的に寄せていただくものです。

第一回めは、長浦地区の大月子供会です。

▶"さあ、いこう!"福島潟へ早朝サイクリング（八月三日）

私達の子供会（一）大月

大月子供会は、昨年六月に発足しました。部落子供会、部落PTAの必要性は、常々感じていましたが、いざ実現しようとすると、なかなか、困難なことが多く、思うようにはいきませんでした。

発足が夏休み前だったため昨年は海水浴ということで、話がすぐ一致しました。しかし天候不順の日が多く、結果は余り意義のあるものとは、言えませんでした。今年の三月、子供達の方から、六年生を送る会を開きたい、との話が持ち上がり、楽しみ会と併せて行いました。計画も活動も子供達主体でしたので、大変楽しいものになりました。

今年は、さらに力を入れよう、ということで、田植え後、総会を開き、行事担当役員を選びました。私達の子供会は発足して日も浅く、規約も会則もまだありません。みんなで話し合って活動内容を決めようということなのです。規約などは、必要性が出てきたら作るつもりです。海水浴かキャンプ…。役員会で決定。

ところが、百人近い人数で海水浴に行くには、様々の面で困難ということになり、キャンプに決まりました。期日は八月二日、三日。場所は、豊栄南小学校。天候晴れ。とにかく初めての体験でしたが、二日の夜は、キャンプファイヤー、フォークダンス、花火大会。三日は、朝五時起床、全員で、福島潟まで、早朝サイクリング、排水機場前の広場でラジオ体操、早朝のすがすがしい空気の中で思いっきり楽しみました。

わずかの間の心の触れ合いでしたが、子供達は、本当に楽しんでいました。大自然の中で、子供達の目は、生き生きと輝いていました。こういう体験を通して、子供達は、りっぱな社会の一員に育つのでは…と思っています。今回の成功を機会に、さらに充実した子供会づくりを心掛けるつもりです。（記事は大月子供会からの提供）

▲楽しかったキャンプファイヤー（8月2日夜）

雪井さんらに感謝状

永年勤続自治会長

自治会長連合会総会が、七月二十二日、中央公民館で開かれました。

その席上、次の四人が、永年勤続（五年）で、市長から感謝状が贈られました。

雪井三蔵（名山）　五十嵐喜代太（大迎）　相馬清一（浦木）　高橋サヨ（川西三）

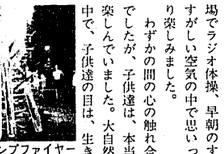
ありがとうございました

○豊栄ゴルフ同好会（代表阿部晃介）は、身体障害者福祉のために　一五、〇〇〇円

○上大口サービス店会は、朝市の売上げの一部を福祉のために　二〇、〇〇〇円

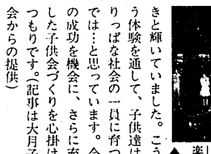
葛中、県大会を制は

男子卓球（団体戦）



▼県大会で優勝、北信越大会でも3位と健闘した葛塚中卓球部

岡方で昆虫標本づくり教室開かれる



▼熱心に、先生の話に耳を傾ける子供ら（大阿賀荘で）

盛況第十二回長浦芸能祭

▼観客も含めて約600人が、参加した長浦芸能祭（7月20日、上土地亀小で）

市民文芸

俳句

豊栄市俳句会

鎌倉　豊月

夏めきて風ある所みな光る　青柳　呼舟

夏兆す火傷の殖ゆる熔接工　成田卯女子

夕光に染髪梳く手の夏めきぬ　星野　荘城

果舗の灯に夏めく艶と彩の山　青木　詩浪

山の線夏めく雲のただすまい　高橋　紅夢

夏めくやすぐに鋪吹く田打鍬　田辺　麥雨

夏めく田そのどん底に棲む泥鰌　本田十一郎

鋸目立つ背から夏めく陽の尖がり　豊田　幸泉

夏めくや片減りの下駄当のなし　小熊　茂子

釣糸に水輪光れり夏めく阿賀　天野ただお

夏めくや水子地蔵の涎掛　高橋　香雪

夏めきて工員働く髪を詰め　坂井　耕月

夏めくや病舎眩しく白を干す　後藤よしい

三輪車買ふて夏めく径戻る　阿部　竜堂

燈篭を灯して夏めく庭の貌　橋本　麥穂

海見えてバスに夏めく風入る　五十嵐柳翠

山の駅夏めく彩に活気つく　青木　竹花

日蔭田も夏めき補殖稲根付く　長谷川逸雄

夏めきて夜ごと逢瀬や星の数　笠原　香蘭

夏めくやノーネクタイに風軽し　小柳　翠歩

俄か出の服装変の夏めきぬ　斎藤　土生

夏めくや装替えて古稀の旅　山崎　智盛

夏めくや祖母の旅装も軽やかに　小林　梨楽

夏しボート夏めく浜にペンキ匂ふ　小林千恵子

五頭連嶺雲吹き上げて夏めきぬ　松永　松翠

夏めくや省エネ協力野風呂焚く　豊栄短歌会

短歌

吉田　きそ

雨晴れて土手の草木も生きいきと夏の名残りのあのとんぼぐさ　長谷川茂雄

殉教にまつはる一夜の物語り平戸の旅はわが胸をうつ（九州の旅）　長谷川嵐潮

蛙鳴く休耕田は荒れしまま時をり雲間の月のこぼるる　伊藤　尋氏

今日よりは梅雨に入るとふたがわずに越の野山に霧雨の降る　丸山　盛一

高砂の翁おうなは六十年の険しき生活に耐えし表ぞ（両親結婚六十余年）　皆川　静路

見蹲にととどきし白桃うまかりし分け合ふて食べしその日思ひつ　五十嵐　清

鍬先に切られし蚯蚓の命よ哀れ二体となりて生きるといふも　阿部　志き

山間の塚ある辺り野あざみの花群れ咲きて昼静かなり　雪井　松雪

つゆの雲動き止まりてもろこしの葉末に玉のしずく光れり　後藤　一夫

枝豆の季と早なりにしか隣家より肴にせよととどけくれにき　大島　残葉

☆☆豊栄短歌会では、歌友諸兄の入会を歓迎しています。

川柳

豊柳会「自由吟」

野村　良平

まさかが本物と成った岩手の新総理　曽我　天堂

絶叫を忘れた様に胸を張り　長谷川嵐潮

太陽に尻を向けてるへご南瓜　大倉　貞光

今様の家康じっと息をつめ　小池　浜

景色より土産の事が気にかかり　橋本　ひろ

魷力有る赤絨毯が彼を呼び　三村　豊

石炭車義経静煙にむせ　阿部　雅雄

お二人へ側がやいのと長い春　服部　尚二

一票を朝びたポスター雨にぬれ　田水沸く農夫胸毛を日に晒す　（以上、市関係者のみ）

ひねくれた松は高値で引き取られ　鹿島　郁子

髪なでて今朝うっとりと薄化粧　本間　重蔵

圧勝が早くも鎧チラつかせ　品田　浪乱

水鉄砲向けられ親はうろたえる　米田　とみ

メロドラマ電話のベルが憎らしい　高見三左ェ門

灰色も米に交われば白く成り　中川　草舎

床の間の中元無言のさぐり合い　師橋　山雨

雑草の宴聴える空屋敷　井上　睦子

閉じるドアローカル線が開けてくれ　吉川　初枝

それなりの個性ブラウス派手に着る　水田蛙太郎

初菊の白さが孤老の部屋に映え　三勝　一男

こめかみの怒り押へている尻尾　臼井さつ子

少しずつ善人捨てて偉くなり　佐藤啓四郎

初孫が笑ってくれた初対面

市制十周年記念　第三十回市恒例　県下俳句大会

（七月二十七日　中央公民館）

兼題順位

一位坂井耕月　七位五十嵐柳翠

兼題高点句

本田十一郎

アカシヤの風も夏めく安吾の碑　坂井　耕月

百姓の塩吹く農衣田水沸く　五十嵐柳翠